

マダニ感染症（重症熱性血小板減少症候群）
の患者数が昨年度より多く報告されています

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは
マダニにより媒介される
SFTSウイルスによる感染症



マダニが多く生息している場所
野生動物（シカやイノシシなど）が出没する環境
民家の裏山、裏庭 畑 あぜ道 等

<うつりかた>

- ・ウイルスを保有するマダニに刺される
- ・SFTSウイルスに感染した猫や犬と接触する

<症状が出るまでの期間> 7日～10日間

<症状>

発熱、全身のだるさ、消化器症状（食欲不振、
嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）
重症化し、死亡することもある

厚生労働省重症熱性血小板減少症候群（SFTS）：
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.htm>
「マダニ対策、今できること」国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト
<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.html>

<予防>

◆ 刺されないようにする

- ・肌の露出を避ける
ハイキング等で山林に入るとき
農作業や草刈り時 等
- ・虫除け剤を使用する
イカリジンやディートを含む物は効果的



◆ マダニがいらないか確認する

- ・首周りや脇の下、足の付け根、
膝裏など全身チェック
- ・ペットの体にマダニがいらないか確認する
散歩後：ブラッシングや体のチェック



<マダニに刺されていたら>

◆ 無理にとろうとしない

皮膚科など医療機関で処置してもらう



- ◆ 数日から2週間程度は**体調の変化に注意する**
発熱、全身のだるさ、消化器症状、発疹
などの症状が出たら、**医療機関に受診し**
マダニに刺されたことを伝える

マダニは11月位まで活発です
ご注意ください（感染制御部/ICT）